

上流は下流を思い。  
下流は上流に感謝する

第15回

# 全国水源の里 シンポジウム

in 島根県松江市

オロチ退治でローカル・サステナビリティ  
～斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～



上流 尾原ダム



100th  
Iikawa-kandogawa  
斐伊川・神戸川改修百年

**日程** 令和5年11月21日(火)・22日(水)

**会場** 島根県民会館 大ホール ほか

**主催** 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会  
(松江市、国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江商工会議所、一般社団法人松江観光協会)

入場無料

11月21日(火) 13:00～17:15 (島根県民会館)

## ■シンポジウム

### ■基調講演

「これまでの100年とこれからの100年～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」

講師：国土交通省 出雲河川事務所長 小谷 哲也氏

「流域でつながる関係人口(仮)」

講師：島根県立大学准教授 田中 輝美氏

### ■パネルディスカッション

コーディネーター：島根大学教授 松本 一郎氏 (松江市SDGsアドバイザー)

パネリスト～斐伊川流域で活躍するまちづくりの担い手～

：大石 亘太氏 前田みのり氏 河野 美知氏 仙田 拓也氏

## 全国水源の里連絡協議会会員向け

■交流会 11月21日(火) 18:30～20:30 (松江テルサ)

■現地視察研修 11月22日(水) 8:30～14:00 (JR松江駅南口集合・解散)

【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース

【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース

【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース

【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース

【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース



下流 宍道湖の夕景

有料・要事前申込

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会 事務局  
(松江市都市整備部大橋川治水・国県事業推進課)

TEL.0852-55-5379

# 第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市

一級水系斐伊川<sup>ひいかわ</sup>流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域全体で生活・文化圏が形成され発展してきました。一方で、山を切り崩し、土砂を水路に流しながら砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行われてきた結果、全国でも稀な天井川が作り上げられ、度々の洪水に見舞われたことから、斐伊川は「ヤマタノオロチ」に見立てられ恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終焉し、流域間の繋がりが希薄化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化により上流域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われつつあります。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流が互いに治水機能を分担する「斐伊川3点セット」と呼ばれる治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の放水路が完成し、残る下流の大橋川改修が現在も進められているところです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを変える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の周知や流域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大型水鳥類と共生するまちづくり、かわとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、斐伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域連携の必要性を広く全国へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

## 11月21日(火) シンポジウム

### 基調講演



これまでの100年とこれからの100年  
～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～

講師

国土交通省 出雲河川事務所長

小谷 哲也氏



流域でつながる関係人口(仮)

講師

島根県立大学 准教授

田中 輝美氏

### パネルディスカッション

コーディネーター



島根大学 教授

松本 一郎氏

(松江市SDGsアドバイザー)

パネリスト



ダムの見える牧場 代表

大石 亘太氏

パネリスト



このはなプラン 代表

前田みのり氏

パネリスト



株式会社ちいきおこし  
代表取締役

河野 美知氏

パネリスト



やすぎとじょう生産組合  
事務局長

仙田 拓也氏

交流会 (※有料・要事前申込)

## 11月22日(水) 現地視察研修 (※有料・要事前申込)

斐伊川流域の歴史文化遺産や特徴的なまちづくりの現場を巡る

A コース



日本遺産「たたら」周遊と  
尾原ダム学びのコース  
(雲南市)

B コース



国宝出雲大社拝観と出雲平  
野の成り立ちを学ぶジオガ  
イドコース (出雲市)

C コース



国宝松江城観覧と城下町遊  
覧、職人商店街視察コース  
(松江市)

D コース



美肌姫神の湯・玉造温泉の  
賑わい再生ストーリーコー  
ス (松江市)

E コース



「日本一の庭園」足立美術  
館鑑賞ととじょう養殖学び  
のコース (安来市)

# 第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市 シンポジウム・交流会・宿泊・現地視察研修お申込みのご案内

オロチ退治でローカル・サステナビリティ  
～ 斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～

一級水系斐伊川流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域全体で生活・文化圏が形成され発展してきました。一方で、山を切り崩し、土砂を水路に流しながら砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行われてきた結果、全国でも稀な天井川が作り上げられ、度々の洪水に見舞われたことから、斐伊川は「ヤマタノオロチ」に見立てられ恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終焉し、流域間の繋がりが希薄化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化により上流域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われつつあります。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流がお互いに治水機能を分担する「斐伊川3点セット」と呼ばれる治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の放水路が完成し、残る下流の大橋川改修が現在も進められているところです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを変える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の周知や流域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大型水鳥類と共生するまちづくり、かわとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、斐伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域連携の必要性を広く全国へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

■主催 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会

(松江市、国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江商工会議所、一般社団法人松江観光協会)

協賛 全国水源の里連絡協議会、斐伊川・神戸川治水問題松江地区協議会

■開催日 令和5年11月21日(火)、22日(水)

■会場 島根県民会館(島根県松江市殿町158)ほか

■スケジュール

## 《11月21日(火)》 シンポジウム

日程	内容	備考
12:00	開場/受付開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会場 島根県民会館 大ホール 島根県松江市殿町158</li> <li>◆参加無料</li> <li>◆アクセス JR松江駅より(のりば) ・松江市営バス/「大学・川津行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「北循環線(外回り)」(1番)で10分「県民会館前」下車 ・一畑バス/「美保関ターミナル行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「恵曇・片匂・古浦・高専行」(6番)で10分「県民会館前」下車 ・運賃:170円(北循環線は210円)</li> <li>◆駐車場 ・県民会館有料駐車場(平面)/収容台数130台、料金30分:100円 ・タイムズ一畑殿町駐車場(立体)/収容台数242台、料金60分:220円(24時間:700円) ・いずれも会館利用者は3時間無料(要手続)</li> </ul>
13:00~13:15	オープニング「正調関乃五本松節」	
13:15~13:35	開会式	
13:40~14:05	フォトコンテスト表彰式	
14:10~14:40	基調講演1「これまでの100年とこれからの100年 ～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」 講師 小谷 哲也氏(国土交通省 出雲河川事務所長)	
14:50~15:40	基調講演2「流域でつながる関係人口(仮)」 講師 田中 輝美氏(島根県立大学 准教授)	
15:45~17:00	パネルディスカッション テーマ 「オロチ退治でローカル・サステナビリティ ～ 斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～」 コーディネーター 松本 一郎氏(島根大学 教授) パネリスト 大石 亘太氏(ダムの見える牧場 代表) 前田みのり氏(このはなプラン 代表) 河野 美知氏(株式会社ちいきおこし 代表取締役) 仙田 拓也氏(やすぎどじょう生産組合 事務局長)	
17:05~17:15	大会アピール/次回開催地あいさつ	
17:15	閉会	

◀11月21日(火)▶ 交流会 シンポジウム会場からJR松江駅南口まで無料シャトルバスあり(片道)

日程	内容	備考
18:30~20:30	交流会(開場18:00~) 斐伊川流域の伝統芸能披露「出雲神楽」「安来節」	◆会場 松江テルサ テルサホール 島根県松江市朝日町478-18 (JR松江駅北口) ◆参加料 5,000円

◀11月22日(水)▶ 現地視察研修 参加料に昼食・交通費含む

日程	コース	備考
8:30~14:00	A【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース	【8:30集合】 JR松江駅南口へ各自参集願 います。 ◆参加料 3,000円
	B【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース	
	C【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース	
	D【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース	
	E【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞ととじょう養殖学びのコース	

■会場までの移動手段

○シンポジウム会場までの交通手段について

公共交通機関でお越しの方は、JR松江駅からバス又はタクシーをご利用ください。

お車でお越しの際は、会場提携駐車場(3時間無料)又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

○シンポジウム終了後の交流会会場までの交通手段について

シンポジウム会場からJR松江駅南口(交流会会場最寄り)までの片道は、無料シャトルバスをご用意します。

お車でお越しの際は、JR松江駅近隣の有料駐車場をご利用ください。

○現地視察研修会場までの移動について

現地視察研修は各コースともJR松江駅南口から中型バスで移動します。当日は8時30分までにJR松江駅南口へご参集ください。

■宿泊先

下記の「お申込み先」に記載の専用Webサイトにて宿泊先を斡旋しています。(令和5年10月15日(日)まで)

お申込み・お支払いの方法

お申込みは全て専用Webサイトにアクセスして手続きを行ってください。

①シンポジウム、交流会、宿泊、現地視察研修のそれぞれについてお申込みください。

②シンポジウムについて

・シンポジウムは入場無料で、どなたでもご参加いただけます。シンポジウムのみ参加される方は専用サイトからの申込みは不要です。

・ただし、全国水源の里連絡協議会会員(首長)及び来賓の皆様は、指定席をご用意しますので、専用サイトから申込み手続きを行なっていただきますようお願いいたします。

③宿泊について

・専用サイトが斡旋する宿泊先を利用する場合、専用サイトのガイダンスに従って宿泊先を決定し、支払い手続きを行なってください。

・なお、ハイシーズンにつき部屋数に限りがあります。先着順ですので、お早めにお申込みください。

④交流会、現地視察研修について

・参加申込みが会場等の収容定員を超える場合、参加者の決定は全国水源の里連絡協議会会員及び来賓等の関係者を優先のうえ、先着順にて決定しますので、お早めにお申込みください。

・現地視察研修の5コースについては、第1希望から第5希望まで選択してください。各コース同数程度になるよう調整させていただきますので、予めご了承ください。

・10月下旬に参加決定通知書・請求書等を代表者様に一括してお送りしますので、書類内容をご確認のうえ、11月13日(月)までに交流会及び現地視察研修の参加料を請求書記載の指定口座にお振込みください。振込み手数料は各自ご負担ください。

・シンポジウムの受付時に交流会及び現地視察研修の参加料の領収書をお渡します。

お申込み先

(URL) <https://amarys-jtb.jp/suigennosato/>

申込先QRコード>>>



お申込みの締切日

令和5年10月22日(日) ※宿泊は10月15日(日)

変更・キャンセルについて

お申込み後の変更・キャンセルも専用Webサイトにて手続きを行ってください。なお、キャンセル料は次のとおりです。キャンセルにより返金の必要が生じた場合は、シンポジウム終了後、ご指定の口座へ振込にて返金します。ただし、返金に伴う振込手数料はお申込者の負担となりますこと、予めご了承ください。(宿泊を除く)

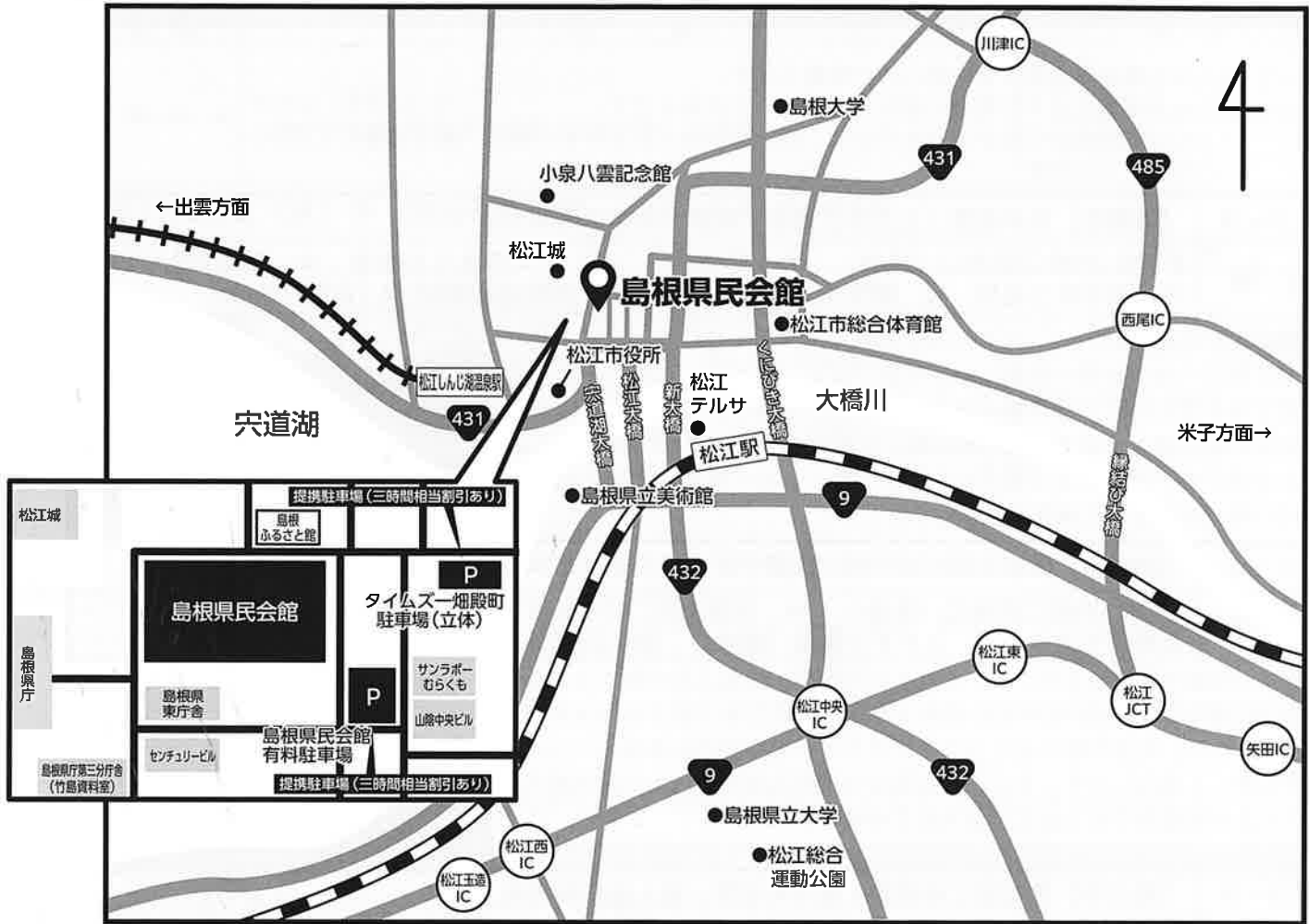
【交流会・現地視察研修】当日及び無連絡不参加：全額

【宿泊】4日前以前：無料、3~1日前：宿泊料の20%、当日：宿泊料の50%、連絡なしの宿泊：全額

- ①各コースとも市職員が添乗する中型バスで移動します。  
 ②各コースとも諸事情により行程の一部を変更することがあります。  
 ③各コースとも一部徒歩の行程がありますので、雨具の持参と歩きやすい服装、靴でお越しく下さい。

Aコース	【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース
行程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 尾原ダム ⇒ ダムに見える牧場 ⇒ 菅谷たたら山内 ⇒ 田部家土蔵群 ⇒ 割烹すぎ原(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
<p>「斐伊川治水計画3点セット」の一つである尾原ダムを見学し、治水・利水とダム周辺の地域振興の取組について学びます。その後、たたら製鉄(我が国で千年余にわたり受け継がれてきた伝統的な製鉄法)で栄えた雲南市吉田町内を周遊し、映画「もののけ姫」に登場するたたら場のモデルといわれ全国で唯一現存する「菅谷たたら山内」と、松江藩筆頭鉄師田部家の往時の繁栄が伺える土蔵群を見学します。</p>	
Bコース	【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース
行程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 出雲大社 ⇒ 稲佐の浜 ⇒ 神門通り ⇒ 島根ワイナリー内、シャトー弥山(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
<p>宍道湖の特徴や斐伊川とヤマタノオロチとの関係、出雲大社の神さまはなぜ縁結びの神と言われているのか、オロチを退治したスサノオノミコトとの関りは何かなど、出雲平野の成り立ちをジオサイトと神話の伝承地の二つの視点から詳しく案内します。また、日本最古の神社建築様式、かつ国内最大規模の木造本殿建築である国宝出雲大社を拝観します。</p>	
Cコース	【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース
行程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 堀川遊覧船 ⇒ 松江城 ⇒ 松江歴史館 ⇒ 出雲そば処 八雲庵(昼食) ⇒ 職人商店街 ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
<p>松江のまちは、今から400年余りに松江城の築城と同時に造られた城下町です。このコースでは、松江が全国に誇る現存天守・国宝松江城の魅力を余すことなくガイドするとともに、近世の姿を伝えるまちなみを堀川遊覧船で巡ります。そして、中心市街地の活性化を目的に城下町に息づく職人の技の「見える化」に取り組む「職人商店街」を視察し、松江の歴史文化遺産を生かしたまちづくりを学びます。</p>	
Dコース	【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース
行程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 玉作湯神社 ⇒ 玉造温泉街 ⇒ 出雲玉作資料館 ⇒ 湯町窯 ⇒ 玉造国際ホテル(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
<p>奈良時代の出雲国風土記や平安時代の枕草子に登場し、日本最古の湯として知られる玉造温泉。相次ぎ老舗旅館が廃業するなど一時は危機的な状況にありましたが、「美肌温泉」としてかつての賑わいを取り戻しました。美肌温泉を街のテーマとした理由や街歩きを促すための仕掛けなど、この地方の特徴でもある勾玉をはじめ玉造の歴史や文化も紐解きながら、歴史ある温泉街の再生の手法を学びます。</p>	
Eコース	【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース
行程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ やすぎどじょうセンター ⇒ 足立美術館 ⇒ 道の駅あらエッサ内、中海の郷(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
<p>どじょうすくい踊りが象徴的な民謡安来節。安来市は、全国屈指のどじょうの養殖地でもあります。このコースでは、休耕田を活用したどじょう養殖の取組を学び、名物どじょう料理をいただきます。また、アメリカの日本庭園専門誌において20年連続日本一に輝いた足立美術館において、横山大観、北大路魯山人のコレクションと庭園を鑑賞します。</p>	

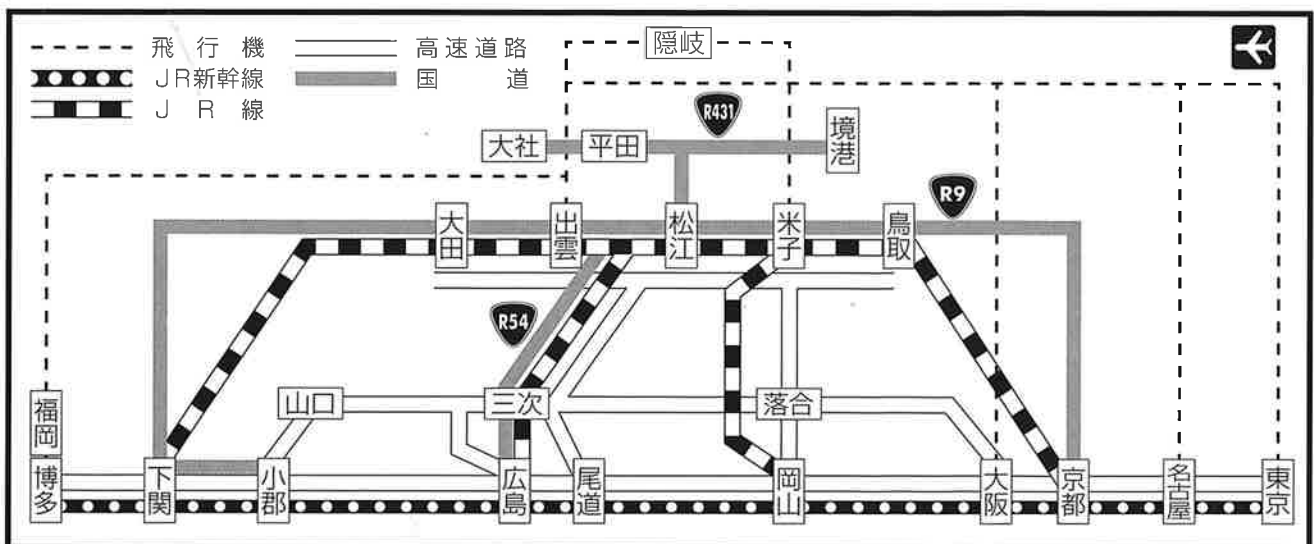
## ■会場ご案内



## ■JR松江駅より

- ・松江市営バス／「大学・川津行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「北循環線(外回り)」(1番のりば)で10分「県民会館前」下車
- ・一畑バス／「美保関ターミナル行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「恵曇・片句・古浦・高専行」(6番のりば)で10分「県民会館前」下車

## ■交通ルート



## ■お問合せ先

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会事務局  
 〒690-8540 島根県松江市末次町86  
 松江都市整備部大橋川治水・国県事業推進課  
 担当：古瀬・角田  
 TEL：0852-55-5379 FAX：0852-55-5915  
 MAIL：ohashi@city.matsue.lg.jp

## ■専用Webサイトに関すること

JTB山陰支店  
 第15回全国水源の里シンポジウム係  
 担当：小笠原果穂  
 MAIL：suigen15@bsec.jp※メールのみにて受付